

2017年6月19日掲載

診療室の安全環境づくり

子どもへの配慮重要

「小児歯科臨床」という雑誌に、キッズスペースにおける安全な環境づくりという内容の投稿がありました。それに関連して、筆者の医院における、4～5歳の子どもたちの、診療室内での行動を基に、診療室内で安全に配慮しなければならないと気付いた事例を挙げてみました。

①待合室の椅子の背もたれに登って、カーテンを引っ張り、カーテンを落下させる②キッズスペースで遊んでいた子ども同士でおもちゃの取り合いになり、相手に投げつけたり、相手に取られまいとしたのか自分の口に隠す③ドアの向こうにいるお友達にドアを開けさせまいとドアを押し付ける④追いかけてっこが始まり、椅子につまずいて転倒する⑤水のサーバーのお湯の栓を（ロックしてあるが）何とか開けようとする⑥少し高いところから本を取り出そうとして失敗し、本が頭に落下する等々、このような場面はたまたま目撃したものです。

診療室という環境の中で、いろいろな問題が起こりうる要素がある事が分かります。

私たちには、子どもたちの様子を観察し、おもちゃの数の確認や本などを取りやすい高さに置くなど、ちょっとしたことに配慮する必要があると思います。

子供達が安全でいられる診療室の環境を構築するためには、保護者の方の協力も必要です。ともに子供達を見守っていくことが大切です。